

日本写真測量学会令和4年度秋季学術講演会
プログラム

開催日時：令和4年11月10日(木) 10時00分～16時20分 学術講演会 参加費： 会員5,000円 非会員7,000円 学生3,500円（会員・非会員共）（いずれも論文集代含む）
16時30分～18時00分 特別セッション「日本からの研究・技術力の発信（持続可能な学会のありかた）」
11月11日(金) 9時30分～15時00分 学術講演会

開催場所：佐賀県佐賀市 「アバンセ」
〒840-0815 佐賀県佐賀市天神三丁目2-11

第1日目 11月10日(木)

10:00 – 10:10

開会のあいさつ

会長 清水 英範

		第1会場	第1研修室（4階）
セッションA	防災・地殻変動	司会：中川 雅史（芝浦工業大学）	
10:20 - 10:40	A-1	災害対応時の高高度レーザ計測検証 ○小澤 弘典・迫田 航・御園 隆（アジア航測）・その他3名	
10:40 - 11:00	A-2	地震誘発天動説の提唱 ○村井 俊治（地震科学探査機構）	
11:00 - 11:20	A-3	プレートテクトニクス理論の書誌学的欠陥 ○得丸 久文（独立研究者）	
11:20 - 11:40	A-4	アフガニスタン国バーミヤン近郊の差分干渉SAR解析による地すべり地検出 ○岡本 勝男・眞弓 孝之・中村 清美（国土防災技術）・その他1名	

		第2会場	第2研修室（4階）
セッションC	画像計測	司会： 藪部 礼（静岡大学）	
10:20 - 10:40	C-1	立体オルソ画像による植物の成長量解析 ○西岡 幸亮・高木 方隆・村井 亮介（高知工科大学）	
10:40 - 11:00	C-2	空き家現地調査を対象とした空撮画像の適用可能性 ○森本 裕真・熊谷 樹一郎（摂南大学）	
11:00 - 11:20	C-3	UAV写真測量を活用した植生遷移の評価 ○横山 暢広・小川 智・林 勇次（国際航業）・その他3名	
11:20 - 11:40	C-4	デジタル航空カメラDMCⅢの特性と位置精度検証について ○寺川 衛・戸村 高士・青木 利昌（朝日航洋）	
11:40 - 12:00	C-5	Airpeak S1+α7Ⅲによる光軸最適化撮影を用いたUAV写真測量の精度検証実験 ○神野 有生（山口大学）・春名 正基・藤井 達士（GEOソリューションズ）・その他3名	

12:00 – 13:00

晷食

13:00 - 14:30	ベンダーフォーラム	司会：中西 芳彦（国際航業）
1. リーグルジャパン（株）「RIEGLレーザースキャナー最新情報」／他		

14:30 – 14:40

休憩

セッションB	3次元モデリング	司会：國井 洋一（東京農業大学）
14:40 - 15:00	B-1 クレーン周辺の三次元地図作成における頑健性の検討 ○小林 知生・須崎 純一・繁森 央一（京都大学）・その他2名	
15:00 - 15:20	B-2 上川アイヌにおけるチセの3次元計測による図面作成 ○山根 佑介・西山 健太郎・岡崎 瑠美（芝浦工業大学）	
15:20 - 15:40	B-3 余市町における建築遺産の3Dアーカイブ ○西山 健太郎・山根 佑介・岡崎 瑠美（芝浦工業大学）	
15:40 - 16:00	B-4 トイドローンTelloを使用した屋外物体の写真測量試行 ○浦本 匠・前原 秀明・藤井 美穂（福岡工業大学）・その他1名	
16:00 - 16:20	B-5 オブリーク画像からの3次元モデルの分割生成処理における課題と解決策に関する検討 ○李 勇鶴・篠原 崇之・佐藤 俊明（パスコ）・その他3名	

セッションD	農業・植生	司会：遠藤 貴宏（RESTEC）
14:40 - 15:00	D-1	ハイパースペクトルセンサを使用した茶園の品質評価 ○土屋 祐太・藺部 礼（静岡大学）・廣野 祐平（農研機構）・その他3名
15:00 - 15:20	D-2	山間地域での樹木と地形の影を考慮した反射率シミュレーション ○藤原 匠（防衛大学校）
15:20 - 15:40	D-3	デジタルカメラによる植生観測に向けた明度計測手法の検討 ○若吉 慧門・高木 方隆・村井 亮介（高知工科大学）
15:40 - 16:00	D-4	複合センサを用いたケニア・ビタ地区の水はけ状況把握のための予備研究 ○浦 和幸・森山 雅雄・皆川 昇（長崎大学）
16:00 - 16:20	D-5	ケニア・ビタ地区でのSGLI地表面温度と降水量、被覆の関係 ○森山 雅雄・皆川 昇（長崎大学）

16:20 – 16:30

休憩

16:30 - 18:00	特別セッション	司会：中川 雅史（芝浦工業大学）
「日本からの研究・技術力の発信（持続可能な学会のありかた）」		
<概要>：少子高齢社会に加えて、COVID-19による影響により、国内においては、各学会で 会員数減や論文発表数減が深刻な課題となっています。また、これに連動して、 国際会議においても、日本からの論文発表数減が課題となっています。これらの課題は、学生や若手技術者から見た測量・空間情報分野の魅力低下のみならず、技術力の低下や、他分野への人材流出と連動している可能性が高いです。そこで、人材育成・研究開発・国際動向などの視点から、測量・空間情報分野の魅力度向上の切り口のひとつとして、持続可能な学会のありかたについて、現状の課題を把握し、学術活動の理想像を共有し、どのようなことをやっていくと良いかについて、大学・企業の視点から、ざっくりとに討議します。 <パネリスト>：長幸平（東海大学）、竹内渉（東京大学）、國井洋一（東京農業大学）、新名恭仁（アジア航測株式会社）、佐藤俊明（株式会社パスコ）		

第2日目 11月11日(金)

第1会場 第1研修室（4階）			
セッションE	レーザ計測		司会：間野 耕司（パスコ）
9:30 - 9:50	E-1	5mメッシュDEMから地図情報レベル25000の等高線を作成する手法の検討 ○高田 悠太郎・稲澤 保行・新藤 昭彦(国土地理院)・その他1名	
9:50 - 10:10	E-2	手持ち型レーザスキャナによる遺構記録三次元データ整備について ○加瀬 聡・花田 睦実・河合 雅己(国際航業)	
10:10 - 10:30	E-3	事前知識を用いた疎なMMS点群からの地物位置の高精度化 ○高橋 元気(国際航業)	
10:30 - 10:50	E-4	UAV搭載型レーザスキャナによる点群の密度と対空標識の観測に関する考察 ○中野 一也(朝日航洋)	

10:50 - 11:00

休憩

セッションF	SLAM		司会：村井 亮介（高知工科大学）
11:00 - 11:20	F-1	山間部における航空レーザとSLAM取得点群の自動位置合わせ ○Jing ZHAO・本間 亮平・若泉 拓磨(アジア航測)・その他1名	
11:20 - 11:40	F-2	SfMとSLAMを組み合わせた屋外における移動経路の記録 ○新田 蓮・松岡 真如(三重大学)	
11:40 - 12:00	F-3	建物データを用いた都市河川計測におけるGLAS/SLAM補正処理 ○中川 雅史・木邨 直人(芝浦工業大学)・尾関 友啓(東京海洋大学)・その他2名	
12:00 - 12:20	F-4	SLAMの品質確保と計測事例 ○大谷 仁志・田嶋 誠司・伊藤 孝(コバコン)	

12:20 - 13:20

昼食

セッションG	GIS・ビジュアライゼーション		司会：高橋 元気（国際航業）
13:20 - 13:40	G-1	地上画素寸法20cm級の空中写真における機械学習用データセットの構築 ○大野 裕幸・浦 郁子(国土地理院)	
13:40 - 14:00	G-2	勾配偏差特徴量による地形データの可視化表現手法 ○坂元 光輝・佐藤 俊明(パスコ)	
14:00 - 14:20	G-3	DSMを用いた建物屋根形状の再現度評価に関する考察 ○若泉 拓磨・本間 亮平・新名 恭仁(アジア航測)	
14:20 - 14:40	G-4	地理空間情報の可視化に関する OSS の対応状況について ○高橋 洋二(朝日航洋)	

14:40 - 15:00

閉会式（表彰式 ／ 閉会のあいさつ 副会長 赤松 幸生）

第2会場 第2研修室（4階）			
セッションH	大気・気象・水資源		司会：関山 絢子（東京農業大学）
9:30 - 9:50	H-1	地上ー衛星観測に基づく全天・散乱日射量の高時間分解能広域推定 ○川井 千晃・宇田 航希・山下 恵(東京農工大学)	
9:50 - 10:10	H-2	領域気象モデルWRFを使った関西都市圏のヒートアイランド構造の解析 ○水上 真望・高山 成・松本 政秀（大阪工業大学）・その他1名	
10:10 - 10:30	H-3	先進光学衛星(ALOS-3)搭載センサによるサンゴ礁内底質優占被覆分類の事前検討 ○渡部 帆南(RESTEC)・水上 陽誠(JAXA)・出原 真理子(RESTEC)・その他3名	
10:30 - 10:50	H-4	地球観測衛星GCOM-C1を用いた新緑・紅葉判定アルゴリズム開発 ○藤原 崇真・高木 方隆・村井 亮介（高知工科大学）	

セッションI	深層学習		司会：野中 秀樹（アジア航測）
11:00 - 11:20	I-1	注意機構を用いた深層学習による歩行者軌跡の予測 ○邱 文心・布施 孝志(東京大学)	
11:20 - 11:40	I-2	土地被覆分類に適した深層学習モデルの検討 ○澤 輝樹・富谷 光良・坂本 昇一(成蹊大学)	
11:40 - 12:00	I-3	セマンティックセグメンテーションを用いた航空レーザフィルタリング修正箇所の自動抽出 ○橋本 寛治・王 婭・鈴木 久美子(国際航業)・その他1名	
12:00 - 12:20	I-4	深層学習による航空レーザ点群における建物抽出精度向上への取り組み ○蘇 姝・中野 一也・若林 和音(朝日航洋)	

セッションJ	衛星リモートセンシング		司会：小田川 信哉（RESTEC）
13:20 - 13:40	J-1	肉牛生産省力化における放牧型自動飼養システム構築のための超小型衛星群を用いた放牧地における草量評価 ○小田川 信哉(RESTEC)・後藤 貴文(鹿児島大学)	
13:40 - 14:00	J-2	Himawari-8/AHIのオルソ補正 ○松岡 真如(三重大学)・吉岡 博貴(愛知県立大学)・市井 和仁(千葉大学)	
14:00 - 14:20	J-3	光学画像による超広域自動変化抽出の高度化 ○菅原 泰晴・島崎 信二・平田 大輔(スカパーJSAT)	